

別紙2 調査表①(令和2年度までの現状と課題の確認)

各機関の現状と課題を確認し、次年度以降の取組に向けた見直しの有無を記入してください。見直しの必要がある場合はその理由も記入してください。

1. 現状の取組状況

① 現状の水害リスク情報や取組状況の共有

項目	現状○と課題●		取組機関	見直しの有無	見直しの理由
主な河川管理施設等の現状の整備状況及び今後の整備内容	○三面川水系や石川水系等では、水害への対応や河川利用のための河川事業が実施され、浸水被害規模は小さくなってきています。しかしながら、三面川流域では昭和42年8月の羽越水害規模の洪水が安全に流下できない箇所もいまだ多く残っており、三面川流域や石川流域の治水安全度は十分とはいえません。		新潟県（村上地域整備部）		
	○三面川・高根川・山田川・小谷川では戦後最大規模の洪水と同規模の洪水、石川・百川・笛吹川では平成7年7月や平成9年6月の水害を踏まえ、概ね10年に1回程度発生する規模の洪水を流下させることを目的に河川改修を推進しています。		新潟県（村上地域整備部）		
	○当地域の中でも最も大きな流域面積（677km ² ）をもつ三面川流域には、三面ダム（S28）、奥三面ダム（H14）があり、洪水調節を行い、下流域の洪水被害を軽減する役割を担っています。		新潟県（村上地域整備部）		
	○三面ダム上流の企業局猿田ダムでは放流量データ等をリアルタイムで河川管理者に提供し連携を図っています。		新潟県（発電管理センター）		
	○当地域では大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め洪水被害の軽減を図る「田んぼダム」の取組を行っています。		新潟県（村上農林振興部）		
	●計画規模に対して流下能力が不足している河道があり、洪水により氾濫する恐れがあります。	A	新潟県（村上地域整備部）		
	●漏水や侵食、河床低下など越水以外にも洪水に対するリスクが高い箇所が存在しています。	B	新潟県（村上地域整備部）		
●洪水のリスクが高いにも関わらず、住民避難等の時間確保に懸念があります。	C	新潟県（村上地域整備部）			

① 現状の水害リスク情報や取組状況の共有

項目	現状○と課題●		取組機関	見直しの有無	見直しの理由
主な河川管理施設等の現状の整備状況及び今後の整備内容	●ダムの役割や洪水調節の仕組みなどが住民に十分理解されていないことが懸念されます。	D	新潟県（村上地域整備部）		
浸水実績と洪水時に想定される浸水想定区域	○当地域で甚大な被害をもたらした昭和42年羽越水害やH17.8豪雨など主要な洪水の浸水実績図を公表しています。		村上市		
	○計画規模の浸水想定区域図を作成・公表するなど村上市が作成するハザードマップの作成支援を行っています。		新潟県（村上地域整備部）		
	●浸水想定区域図等が洪水に対するリスクとして認識されていないことが懸念されます。	E	新潟県（村上地域整備部）		
	●計画規模を超える大規模氾濫による避難者数の増加や避難場所、避難経路が浸水する場合に住民避難が適切に行えないことが懸念されます。	F	村上市		
洪水時の河川に関する情報提供等の内容とタイミング	○3水系5河川で8水位局を整備しています。そのうち1水系4水位局で避難勧告の発令判断の目安となる氾濫危険情報や水防警報の発表を行っています。		新潟県（村上地域整備部）		
	○ダムからの放流をお知らせするサイレン警報局を治水機能を持つ三面ダムと奥三面ダムでは8箇所、発電機能を持つ猿田ダムでは2箇所整備しており、放流量等の情報は関係機関に情報提供しています。		新潟県（村上地域整備部、発電管理センター）		
	●洪水時の防災情報の持つ意味や防災情報を受けた時の対応について、行政や住民が十分理解しておく必要があります。	G	村上市、新潟県（村上地域整備部）		

※○：現状、●：課題

② 市町村が行う円滑かつ迅速な避難のための取組

項目	現状○と課題●	取組機関	見直しの有無	見直しの理由
住民等への情報伝達の体制や方法	○河川管理者（新潟県）と水防管理団体（村上市）では、水防警報や水位情報の通知（水位周知）等の伝達系統や方法を「水防計画」に明記しています。	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	○村上市では、具体的な避難勧告の発令基準や方法、対象地域を「地域防災計画」に明記しています。	村上市		
	○新潟県と村上市では災害時のホットラインを構築していません。	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	○河川管理者からインターネットや地上デジタルデータ放送等を通じて雨量、河川水位、ダム等のリアルタイム情報を提供しています。	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	○水位観測所における洪水時の水位状況を分かりやすい量水標で表示しています。	新潟県（村上地域整備部）		
	○三面ダムと奥三面ダム、猿田ダムからの放流情報をサイレン警報局を通じて沿川住民に周知しています。	新潟県（村上地域整備部、発電管理センター）		
	○村上市では防災行政無線や防災・防犯情報一斉メール配信サービス「防災・防犯情報ねっと」等にて災害時の緊急情報等を知らせています。	村上市		
	○避難場所や避難経路、洪水による浸水区域と土砂災害危険区域を記載した災害ハザードマップを作成し、住民に配布すると共にホームページで周知しています。	村上市		
	○過去の浸水実績を「まるごとまちごとハザードマップ」として現地に表示しています。	村上市		

② 市町村が行う円滑かつ迅速な避難のための取組

項目	現状○と課題●		取組機関	見直しの有無	見直しの理由
	●情報伝達された際の各行政機関が、どのような行動を取るべきか十分理解されていないことが懸念されるため、住民の生命を守ることを第一に、避難勧告の発令等に着目したタイムラインを整備する必要があります。	H	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	●インターネット等により防災情報を提供しているが、情報の入手先が分からず、住民自らが情報を入手するまでに至っていない懸念があります。	I	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	●提供されている情報の持つ意味が十分理解されていない懸念があります。	J	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	●大雨や暴風により防災行政無線が聞き取りにくい可能性があります。	K	村上市		
	●メール配信による情報提供を行っているが、一部の利用にとどまっています。	L	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
住民等の防災意識向上に向けた取組	○防災に関する情報の入手方法や河川水位による危険度、避難や水防活動の際に注意すること等を分かりやすくまとめた冊子やチラシ、携帯用ポケットブック（一般用／水防団用）等を作成・配布しています。		新潟県（村上地域整備部）		
	○地下街や要配慮者施設等の事業者向けに自衛水防に役立つ情報をホームページで紹介しています。		村上市		
	○小中学生を対象とした「新潟県防災教育プログラム」を策定し、実際の教育現場で活用されています。		新潟県（村上地域整備部）		
	○教育現場等の防災教育に役立つ資料集として、過去の水害の写真等の情報をホームページで提供しています。		新潟県（村上地域整備部）		

② 市町村が行う円滑かつ迅速な避難のための取組

項目	現状○と課題●	取組機関	見直しの有無	見直しの理由
住民等の防災意識向上に向けた取組	○毎年、自主防災組織や町内・集落を中心に訓練内容を計画し、地元消防団等と協力しながら、その地域に合った訓練を実施する「地域住民による防災訓練」を実施しています。	村上市		
	●住民に自助・共助の大切さが十分理解されていないことが懸念されるため、防災意識向上に向けた継続的な取組を行うことで、世代間の継承、災害に強い地域文化を形成する必要があります。	M 村上市、新潟県（村上地域整備部）		

※○：現状、●：課題

③ 的確な水防活動等のための取組

項目	現状○と課題●	取組機関	見直しの有無	見直しの理由
洪水に備えた準備	○毎年、出水期前に河川管理者と村上市、地元消防団を含めた関係機関等と共に重要水防箇所図をもとに重要水防箇所の合同巡視を行うと共に、新潟県と村上市で水防倉庫に備蓄している水防資機材の確認を行っています。	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	○新潟県では資機材不足発生時の広域的な応援体制を構築しています。	新潟県（村上地域整備部）		
	○国土交通省と新潟県、村上市、関川村、消防関係機関等と合同で水防訓練を実施しています。	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	○毎年、出水期前に樋門ゲート等の操作点検を行っています。	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	○新潟県や村上市では災害時におけるリエゾン派遣等の協力体制を国等の関係機関と構築しています。	村上市、新潟県（村上地域整備部）		

③ 的確な水防活動等のための取組

項目	現状○と課題●		取組機関	見直しの有無	見直しの理由
洪水に備えた準備	●重要水防箇所や水防資機材等の状況を第一線で活動する水防団に十分理解してもらう必要があります。	N	村上市、新潟県（村上地域整備部）		
	●水防団員の減少や高齢化などにより水防工法の技術伝承に懸念があります。	○	村上市、新潟県（村上地域整備部）		

※○：現状、●：課題